平成29年度 来村者動向アンケート 調査報告書

来村者の、来村目的・来村方法・宿泊の有無・宿泊先・購買等

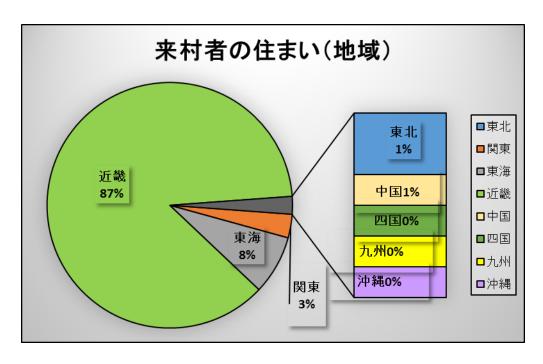
Ⅰ • 調査概要

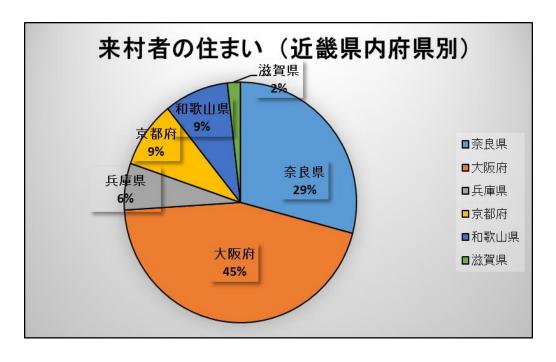
- 1. 調査方法
- (1)調査日 平成29年8月~平成29年10月
- (2) 調査方法 来村者への直接ヒアリング
- (3)調査対象 来村者全体
- (4)調査対象人数257人
- (5) 設問数 12問
- 1. 住まいについて
- 2. 性別•年齡
- 3. 来村目的
- 4. 来村人数
- 5. 来村延べ回数
- 6. 来村時の交通手段
- 7. 宿泊日数(予定)
- 8. 宿泊先地域(設問7 回答者)
- 9. お土産の購入
- 10.お土産の購入金額(設問9 回答者)
- 11.飲食店の利用
- 12. ご意見・ご感想

Ⅱ • 回答者属性

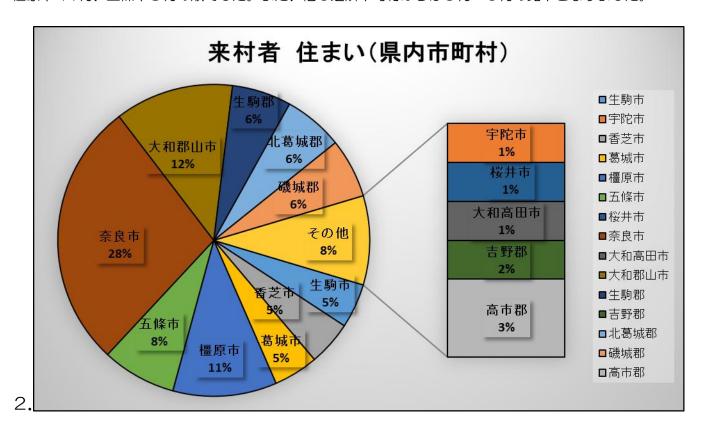
1. 住まいについて

近畿在住の来村者が全体の約87%となり、次いで東海地方・関東地方の順となりました。なお、大阪府からの来村者が全体の約45%となりました。

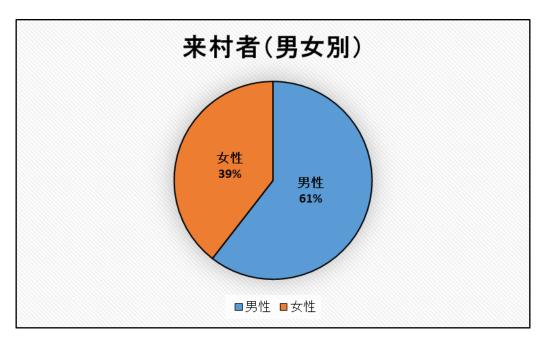


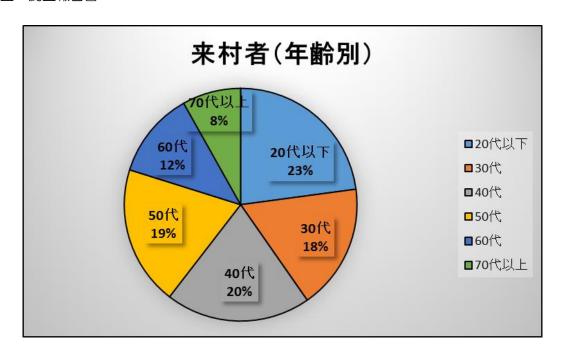


県内来訪者は全体の約29%で、県内全体の比率では、奈良市内が約21%、大和郡山市が約12%、 橿原市11%、五條市8%の順でした。また、他6近隣市町村からは5%~6%の比率となりました。



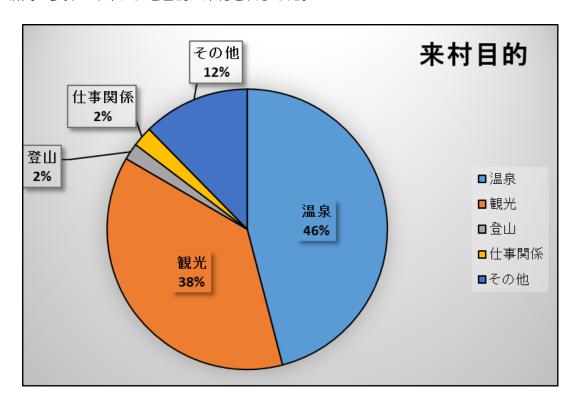
来村者の性別は男性が61%を占め、年齢別では20代が23%、また、30代~50代の各層は20% 前後となりました。





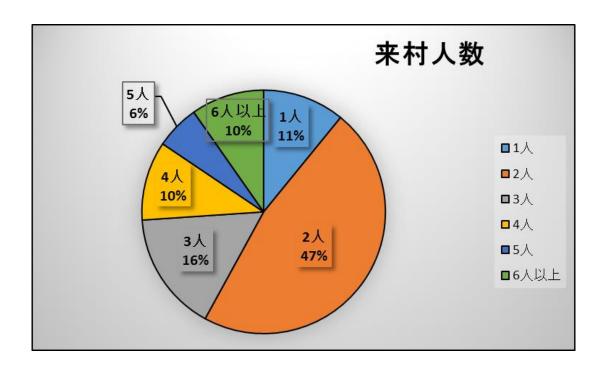
3. 来村目的について

来村者の来村目的は、温泉が46%を占め、ついで観光が38%となりました。なお、その他では帰省・研究・参拝・キャンプを目的に来村されました。



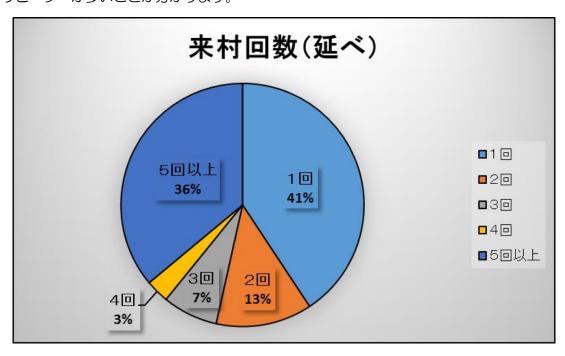
4. 来村人数について

来村者の来村人数は、2人での来村が約47%を占め、3人以上の来村が約16%となりました。なお、昨年と比較して一人での来村者が減少、3人以上での来村が増加しました。



5. 来村回数(延べ)について

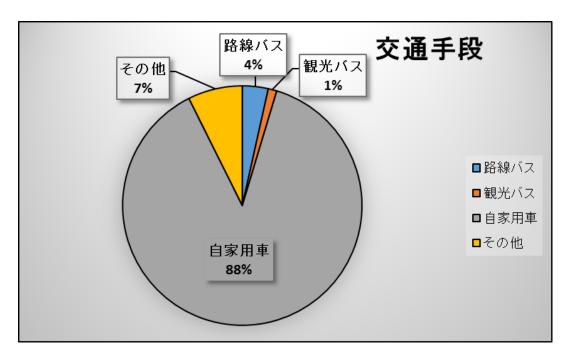
来村者の来村述べ回数は、『1回目の来村』が約41%、ついで『5回以上の来村』が約36%となり、 ヘビーリピーターが多いことが分かります。



5

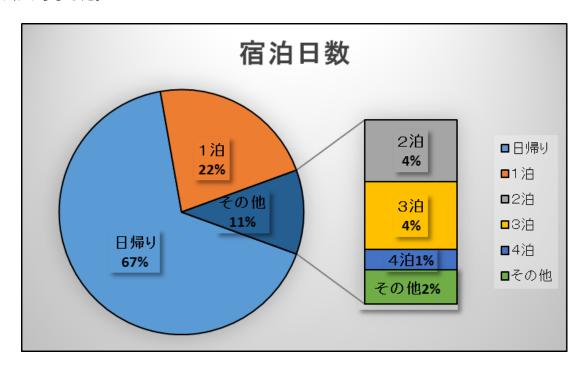
6. 交通手段について

来村者の交通手段は『自動車』が約88%、ついで『路線バス』(約4%)、『観光バス』(約1%)の順となりました。なお、『その他』が7%でした。



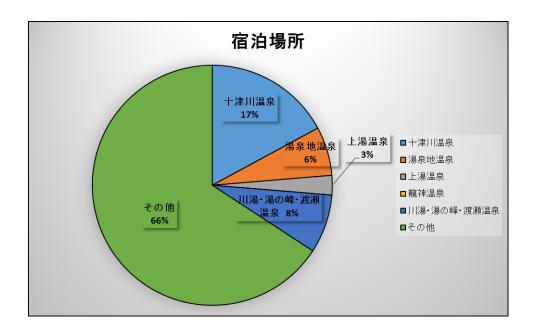
7. 宿泊の予定について

来村者の宿泊予定では、『日帰り』が67%、『1泊』が22%の順となり、『日帰り』の来村者が多いことがわかりました。



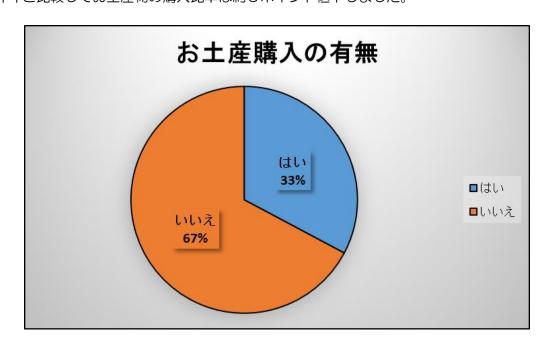
8. 宿泊場所について(宿泊の回答者のみ)

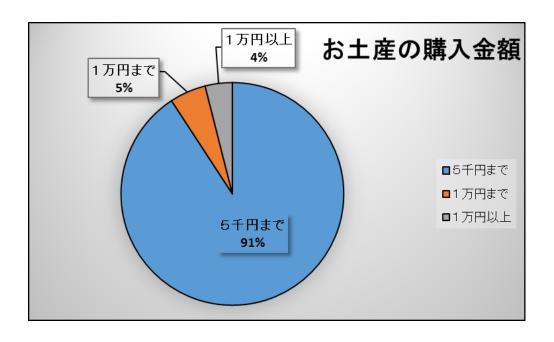
宿泊した来村者の宿泊場所は、その他が66%となり、十津川温泉が17%となり、川湯・湯の峰・ 渡瀬温泉、湯泉地温泉、上湯温泉の順となりました。今回のアンケートでは、その他が多数を占めまし たが宿泊先の動向はつかめず、今後は他地域、キャンプ等の選択肢を追加し明確にしていきます。



9. お土産の購入および購入金額について

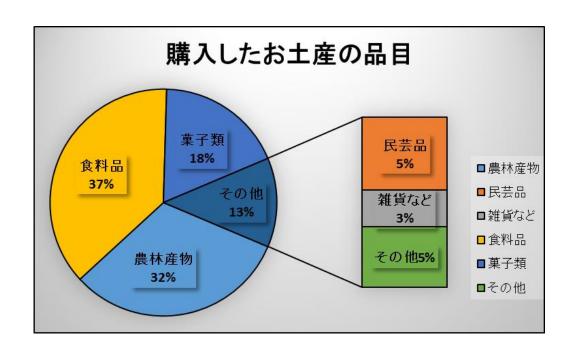
来村者のうち33%がお土産を購入され、金額は『5千円以内』が91%となりました。 なお、昨年と比較してお土産物の購入比率は約9ポイント低下しました。





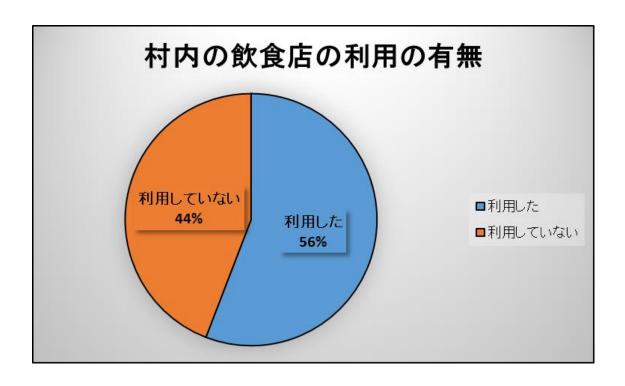
10. 購入品目について (購入の回答者のみ)

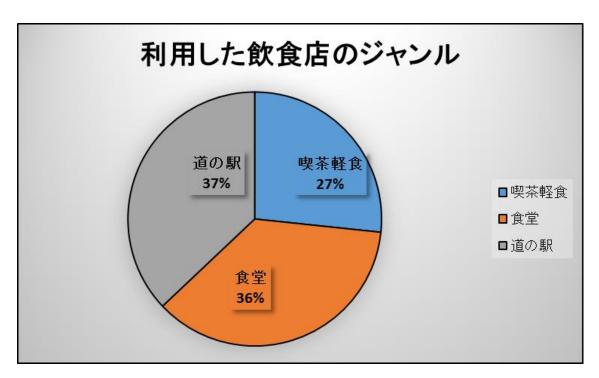
来村者の購入したお土産は、『食料品』が37%、『農林産物』が32%、『菓子類』18%となり、食品関係のお土産物を購入されていました。



11. 飲食店の利用について

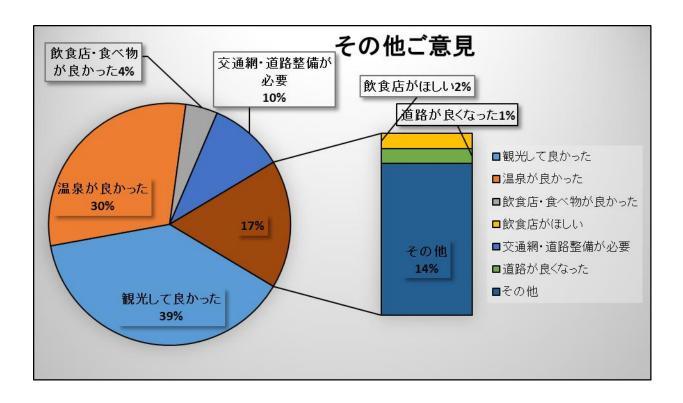
来村者のうち約56%が村内の飲食店を利用されました。また、利用先は『道の駅』が37%、ついで『食堂』が36%、『喫茶・軽食』が27%となりました。昨年と比較して飲食店全体の利用率は6ポイントほど低下していますが、『食堂』、『喫茶・軽食』の利用率は上昇しています。





12. その他ご意見、ご感想

その他のご意見では、観光および温泉が良かった等、良好なご感想をいただけました。また、その他では、水害復興の激励、ゆっくり来たい等のご感想等のご感想がありました。



以上